

世界の自動車グループ地図・・・そのブランドは、どこの一員か

縦＝グループ／横＝本拠・傘下ブランド・得意分野・日本での見かけ方。憧れのあの車が、実は知っている会社の一員だったと分かります。

● ドイツ ● フランス・欧州 ● アメリカ ● 日本 ● 韓国
● 中国 ● その他

グループ 一言でいうと	本拠 国	傘下の主なブランド 太字＝日本でよく見かける	得意分野 力を入れている場所	日本での見かけ方 買う人の目線で
フォルクスワーゲン 大衆車から超高級まで抱える	ドイツ	フォルクスワーゲン ／ アウディ ／ ポルシェ ／ランボルギーニ／ベントレー／シュコダ／セアト・クブラ	車台やエンジンの共通化。電動化にも大規模投資	輸入車の中心。販売店も部品も比較的そろっている
メルセデス・ベンツ 高級車の基準を作った会社	ドイツ	メルセデス・ベンツ ／AMG／メルセデス・マイバッハ	安全装備の先行と、長距離の快適さ	日本の輸入車で常に上位。中古の流通も多い
BMW 走りで選ばれる高級車	ドイツ	BMW ／MINI／ロールス・ロイス	前後の重量配分と操縦性。直列6気筒エンジン	MINIは女性にも人気で台数が多い＝維持しやすい
ステランティス 欧米14ブランドの連合	オランダ／欧州・米	プジョー ／ シトロエン ／DS／ フィアット ／ アルファロメオ ／ ジープ ／マセラティ／ランチア／オペル／クライスラー／ダッジ／RAM／アバルト	小型車から本格四駆まで幅が広い。足まわりの味付け	フランス車とジープが身近。同じグループなので部品が共通のことも
ルノー・日産・三菱 国境をまたぐ連合	フランス／日本	ルノー ／ ダチア ／アルピーヌ／ 日産 ／ 三菱	小型車と電動化。軽自動車の共同開発も	日産・三菱は国産扱いで買える。ルノーは輸入車として
吉利（ジーリー） 中国資本で欧州ブランドを育てる	中国	ボルボ ／ポールスター／ロータス／リンク＆コー／スマート（合併）	安全思想と電動化。北欧の設計を維持したまま投資	ボルボは日本で人気。中国資本だが開発はスウェーデン
タタ インド資本の英国ブランド	インド	ジャガー ／ ランドローバー	悪路走破と英国流の内装	維持費は高めの部類。扱える工場を先に確認
現代自動車 短期間で世界規模へ	韓国	ヒョンデ ／ キア ／ジェネシス	電気自動車と装備の充実。価格の設定がうまい	日本では販売網がこれから育つ段階。中古相場は未成熟
BYD ほか中国勢 電池から車まで自前で作る	中国	BYD ／MG／NIO ほか	電池を自社で作れる強み。価格と装備	日本では乗用車の販売が始まった段階。整備網と中古相場はこれから
GM／フォード アメリカの二大メーカー	アメリカ	シボレー／キャデラック／GMC／ フォード ／リンカーン	大きな車体と力。ピックアップトラック	日本での正規販売は限られる。車体の大きさが最大の関門
テスラ 電気自動車から始まった会社	アメリカ	テスラ	電気自動車と、通信で機能を更新する仕組み	販売も整備も従来のディーラーとは別の形。充電環境が前提
トヨタ／ホンダ ほか 第3講で扱った日本勢	日本	トヨタ ／ レクサス ／ ダイハツ ／ スバル ／ ホンダ ／ マツダ ／ スズキ	耐久性と量産。ハイブリッド	詳しくは第3講のメーカー別ページへ

 **グループで見ると分かること**
同じグループのブランドは、車台やエンジンが共通のことがあります。つまり整備の知識と部品が共通になる。憧れのブランドでも、身近な兄弟がいれば維持のハードルは下がります。逆にグループが変わったばかりの時期の車は、部品の流れが読みにくいことがあります。

 **国籍より台数で見ると**
「外車は維持費が高い」は大ざっぱすぎます。正しくは、日本で売れている台数が多いほど部品が流通し、扱える工場が増え、中古相場も安定するということ。国籍の問題ではなく台数の問題です。

 **資本と開発は別のこと**
ボルボは中国資本ですが開発はスウェーデンです。ジャガーはインド資本ですが英国で作られてきました。どこの資本かと、どこで誰が作っているかは別の話。ここを混同した書き込みが多いので注意してください。